



Star ☆☆☆
EXPRESS

2月の予定

1月28日 2月度授業料引落日
(2月8日 引き落とし予備日)
1月30日(日) 近畿大会大阪予選
2月13日(日) 1~3級・段位試験
☆2月13日珠算検定・段位検定・1月30日近畿大会の特別練習日程
1月29日・2月5日・2月12日
午後5時~7時

2月13日検定について

2・3級…星の郷教室 午前8時
1級…北大阪会議所 午前11時20分
段位…北大阪会議所 午前11時10分
当日は午前7時に教室を開けます。
自由に練習してください。1級と段位は会場に直接行ってください。時間に余裕を持って行動してください。会議所までの行き方についての案内は教室にありますので必要な方は申し出てください。1級受験の中学生以上は生徒手帳を持って行ってください。

近畿大会大阪府予選について

大会は大阪商工会議所で午前9時30分開始、午後0時30分終了予定です。出場者は星田駅に7時40分に集合してください。大阪天満宮(中学生290円・小学生150円)までの切符を買っておいてください。

大会は小学4年生以下の部・小学5~6年生の部・中学生の部の各部門から大阪代表選手をそれぞれ8名ずつ選出します。代表になった選手は当日午後後に合同練習会がありますので会場に

そのまま残ります。(昼食が出来ます)決勝に残れなかった選手の行動については別途考えます。

☆昨年10月実施 段位試験昇段者☆

☆珠算総合段位昇段者

六段 永井功久
五段 田村早絵
四段 山口愛未
二段 松下綾乃
初段 下西晴香 渡邊綾乃
酒井結衣 福島梨沙子

準初段 大内峻聖

☆暗算総合段位昇段者

五段 田村早絵
三段 金本愛夢
二段 大内峻聖
準初段 花岡棋平 酒井結衣

○かけ算昇段者

六段 永井功久
五段 田村早絵
四段 山口愛未
二段 松下綾乃
初段 渡邊綾乃 窪田一誠
酒井結衣 福島梨沙子

準初段 大内峻聖

○わり算昇段者

八段 永井功久
七段 桑原麻衣
準三段 金本愛夢

二段 窪田一誠 酒井結衣
初段 渡邊綾乃 福島梨沙子
大内峻聖
準初段 藤田純菜

○みとり算昇段者

八段 桑原麻衣
五段 山口愛未
四段 大内悠聖 大内峻聖
三段 金本愛夢
準三段 渡邊綾乃
二段 松下綾乃 酒井結衣
準二段 福島梨沙子

初段 下西晴香

○かけ暗算昇段者

九段 永井功久
七段 田村早絵
五段 山口愛未
四段 大内峻聖
準二段 酒井結衣
準初段 花岡棋平

○わり暗算昇段者

満点十段 山口愛未 大内悠聖
十段 安原章太
六段 金本愛夢
三段 花岡棋平 大内峻聖
準三段 松下綾乃
二段 下西晴香 渡邊綾乃
酒井結衣
初段 窪田一誠 藤田純菜

○みとり暗算昇段者

五段 田村早絵
三段 金本愛夢
二段 花岡棋平 大内峻聖
準初段 酒井結衣

☆クリスマスカップ結果☆

○小学2年生以下の部

個人総合競技 日本一 大内悠聖
第9位 金本愛夢

第17位 大内峻聖
団体総合競技 第3位 星の郷教室
読上算競技 第3位 金本愛夢
読上暗算競技 第2位 金本愛夢
第15位 大内峻聖
フラッシュ 第2位 大内悠聖
第4位 金本愛夢
第16位 大内峻聖

○小学3・4年生の部

個人総合競技 第4位 金本三夢
第5位 金本大夢
第30位 山口愛未
団体総合競技 第3位 星の郷教室
読上算競技 第12位 金本大夢
第17位 金本三夢
読上暗算競技 第4位 金本大夢
第10位 金本三夢
フラッシュ 第2位 金本三夢
第4位 金本大夢
第14位 山口愛未
英語読上算 第11位 金本三夢
第14位 金本大夢

○小学5・6年生の部

個人総合競技 第13位 永井功久



◎前号で「最強の習い事そろばん・脳移植に匹敵する珠算学習」というタイトルの長文を掲載いたしました。お目を通していただけましたでしょうか。

実はあの文章は前号の冒頭でも触れましたが、私が所属しております大阪珠算協会の研究誌に発表するものとして書きました原稿に塾報用として手を加えたものでした。

文中で、ある一人の生徒の変化について書きましたが、実はその生徒のご両親には、お子様のことについて述べている旨をお伝えしておりました。

ちょうど塾報を配布した日、その生徒のお父様が教室まで送迎なさっていました。私は初対面だったのですが、「最近お子様に何か変化がありませんか？」と話しかけました。「今月の塾報にはお子様のことを書いております。お母様は多分気づかれると思いますのであらかじめお伝えしておきます」とお父様に伝え、しばらく立ち話をしました。その件も含めて、研究誌には塾報で触れなかった文章を入れてありますので一部を転載します。

……この生徒には自信を持たせるために、何度か初歩教材をやり直した。自分でできる、ということを腹の底から実感させるためである。

やり直しの宣告を私から聞かされた瞬間は、奈落の底に突き落とされたような悲しげな表情を、一瞬だけ、みせる。この「一瞬だけ」なのが、やはり彼なのである。悲しさにさえも、それを補うに足る時間を十分につけられないくらい、自分を前面に出すことに拒絶反応を起こしてしまうのだろうか。考えれば考えるほど何ともやりきれなくなってくるが、しかし私は努めて平静を装って宣告する。

一体何回初歩教材をやり直したであろうか。そして何回同じ説明を繰り返したであろうか。教えなければならぬことと教えてはいけないこと、教えた方がよいことと教えない方がよいことの4つの峻別を彼ほど必要とした生徒は過去にいなかった。私はわかっていないにもかかわらずわかったふりをする生徒に「じゃあ、今覚えたことを説明してみてください」という意地悪な課題を与えることがあるが、彼にそんなことをすれば壊れて

しまうような気がして怖くて課題を出せなかった。その代わり、私は全身を耳目にして、彼の中で理解が進み、「ストンと落ちる瞬間」を見逃すまいとした。その瞬間を感じた段階で説明を止め、彼が反芻するのをじっと待つようにした。そして、「できそうか？」という問いに対するかすかな返事の声色から私の直感が正しかったのか、あるいは間違っていたのかを判断しようとした。

何のことはない、私は彼に育ててもらっていたのである。鍛えてもらっていたのである。

結局、今になって言えることではあるが、初歩教材を何回か繰り返すうちに、一外見や日常の行動からは想像しがたかったのだが、一度戻されても決してめげない強い心と、毎日のように教室にやってくる豊富な練習量がこの生徒の最大の長所であったと私は気づかされることになっていくのである。（途中略）

……最後に彼の後日談をご紹介します。本稿を終えようと思う。

2桁のわり算練習に入った頃、みとり算で悪い癖が出始めた。頭ではわかっているが、無意識に指先が動いてしまって、間違えることが多くなってきたのだ。そこで私はもう一度、前述のグループで鍛え直すことを宣言した。「戻された」という事実が、彼の無意識の行動を、コントロール可である意識下に置くことを期待しての判断であった。すると、なんと彼が自発的に「がんばって計算するのでもう一度チャンスをください」と申し出てきたのである。

私は自分の耳を疑った。1年弱の通塾で、彼の口から出てきた言葉は「ハイ」以外になかった。そんな彼が、今まで誰

も口にすることがない類の申し出をしてきたのであるから、驚きとうれしさと彼の精神面での脱皮に小躍りしたい気分になった。

初めてお父様が迎えに来たとき、私はこの一件を伝えた。同時に、今までのありのままも伝えた。すると、お父様は「本当にあの子がそう言いましたか？」と言いながら言葉に詰まられた。「先生には初めてお話しします。1歳の時、医師から、脳に障害があるかも知れないといわれ、学校でもなかなか適応できずにいました。でも、そろばんだけは行くのです。テキストを戻されて家で泣いていても、次の日には歯を食いしばって行くのです。」

戻されて泣いていたのはまさに先の申し出のあった日のことで、結局正解できずに戻されたのであった。

申し出たにも関わらず壁にぶち当たってしまった事実と、その事実を悔しくて泣くという行為、これらにつながりがあったのである。

喜怒哀楽を親の前でもみせなかった子どもの大変化。

珠算学習という大きな器には子ども達の発達をゆだねられるだけの計り知れない奥行きと広がりがある。

先月の28日、教室に封書が届きました。この生徒のお母様からのお手紙です。ご了解を得て塾報に掲載させていただきます。過分なお褒めの言葉をいただいておりますが、なるべく原文のままご紹介させていただきます。ただし、生徒名は「息子」「我が子」に変えてあります。

金本先生

寒気いよいよ厳しく、先生方皆様にはお変わりございませんでしょうか。いつも一方ならぬお力添えにあざかり、誠にありがとうございます。

尚、本年中は文美先生のご母堂様は御不幸に遭われましたこと、謹んでお悔やみ申し上げます。

この度は塾報にて金本先生の我が子に対する並々ならぬ温かい愛情と素晴らしい指導力に感銘を受け、お便りさせていただきました。正直申しますと、今回の塾報を拝読させてもらってから、溢れる涙を自分自身でコントロールすることができず、先生とお会いしてきちんとお話しする自信が持てなかったため、お便りにさせていただきました。

お忙しい年末に大変失礼かと存じますが、御一読下されれば幸いです。

先日はドリームナンバーのプレゼントを頂きましてありがとうございます。子ども達はうれしそうにお菓子をほおばり、おもちゃを次々と出して喜んで遊んでいます。そのドリームナンバーの景品を頂きに行った際、金本先生とお話しさせて頂いた旨を主人から伝え聞きました。

先生のおっしゃる通り、息子は2学期後半から急激にグンと成長することができました。学校のクラスでも孤立しがちであったのですが、クラスメイトに声をかけて一緒に遊ぶようになり、自宅にも友達が訪ねてきてくれることも増えました。非常に筆圧の薄い文字しか書けなかったのに、自信を持って大きく濃い文字を書けるように

なりました。どもってしまうことも多いですが、自分から今日の出来事を私に話してくれるようにもなりました。学校の担任の先生との懇談でも、息子の変化と成長を驚き、先生も喜んで下さっていました。

まだまだ他の同学年の子ども達に比べれば、ずいぶん遅れている方ではありますが、あの子なりに前へ進もうと努力している気持ちがヒシヒシと伝わってきております。

私は今回の塾報から金本先生の教室に通う子ども達に対する溢れんばかりの愛情に心から感動いたしました。私も主人も親ではありながら、私達だけでは息子を今の状態に導いてやることは出来ませんでした。

息子より随分と後から入塾してきた幼い子に次々と先を越され、私の中には少し焦る気持ちがありましたが、本人は悔しいのか悔しくないのか、特に何も言わず、「この子をどうしてやればいいのか・・・」と日々苦悩しておりました。「なんとかこの子に自信を持たせてやりたい。」それが私の目標でした。

お尻に火をつけてやろうと、厳しく叱咤したこともありましたが、これは完全に逆効果でした。

彼は怯え、更にものを言わなくなり、自分のカラに閉じこもりました。

「この子は待つしかない。長い人生の中で子どもとして過ごせる時間は今しかない。みんなは20歳で大人になるかもしれないけれど、この子は30歳で大人になればいい。」そう思えるようになるまで時間はかかりましたが、今

はとても晴れ晴れとしたすがすがしい気分です。

親にとってはかけがえのない我が子ですが、たくさんの生徒さんを抱えておられる金本先生にとって、一生徒である我が子の遅々として進まないそらばんの技術を、温かく長い目で見ていただいておりますこと、感謝の一言では語り尽くせません。

私も主人も、金本先生の元で子ども達を預かっていただいていたことによかったと実感しております。

先日主人が申しあげました通り、息子には先天的に脳に異状がありますが、脳科学者に言わせれば、人間は長い人生の中で自分の“脳力”の30%程度しか使わずにその生涯を終えるのだそうです。

そうだとすれば、残りの70%があるじゃないか、70%を刺激して鍛えれば不利な30%をカバーできるかもしれません。今年は“脳には無限に広がる果てしない可能性がある”と信じられた1年になりました。

来年もまた親子共々精進し、実りある一年となるよう努力いたしますので、引き続き越いご指導賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

かしこ

平成22年12月25日

便せんと文字とのバランスが見事な、達筆のお手紙でした。

このご両親の元に生まれてきた子ども達は何と幸せなのでしょう。

1月9日に大阪府堺市、1月10日は東京都北区で珠算講習会がありました

た。両日とも2時間ほど話してきましたが、先月号の塾報とお母様の手紙を元に、いかにして教えすぎずに指導していくか、という一点に絞って説明してきました。

たとえば、 $100 - 1$ 。そろばんを使った計算では100から10を引いて90とし、 $10 - 1$ の9を加えて99とするのですが、 $100 - 10$ の後に、もう一度10を引いてしまう思い込みによる間違いをする生徒がいます。頭ではもちろん99だとわかっているのですが、「勢い」で間違えてしまい、89とするわけです。理屈も間違える原因もわかっている生徒にもう一度説明したところで意味はあまりありません。そんなとき、たとえば、 $100000000 - 1$ などをさせてみるのです。そこで生徒が「ニヤッ」としたり、「あっそうか」と叫んだりすれば、何も教える必要はないのです。自分で気づいた方法は身から出たものであるだけに忘れません。

あるいは、 $9 + 1$ をさせて $10 - 1$ をさせることもあります。足し算と引き算は反対の動きをすることを確認させ、 $99 + 1$ をさせてみます。その後、 $100 - 1$ をさせるわけです。言葉はなくとも生徒は気づくのです。

1時間の練習時間でほとんど問題集のページが進まない場合があります。そんなときは、たいていこういった「熟成」に時間がかかっているのです。一見してわかりやすい「進み具合」だけで子どものがんばりを評価しようとする、こうした地道な努力を見落としてしまう場合がありますので、注意が必要です。

出席時間20時間以上の生徒

(1月20日までの1ヶ月)

金本大夢41 窪田一誠38 金本三夢38
金本愛夢36 桑原麻衣33 百田夏海32
濱野恵太32 桑原唯衣31 桑原彩衣31
谷岡菜々子30 山口愛未28 松下綾乃28
江良尚泰26 奥田あさひ26
安原章太26 落合将平25 奥田南海24
藤野柚季24 楓まい22 西村早貴22
酒井結衣22 酒井克巳22 大内悠聖21
笠崎萌加21 永井功久21 長尾侑美21
中越菜々子21 福田陸人20
梅野雄太20 湊結子20

猛スピードばく進中(PERFECT)

(初歩教材PERFECTを1ヶ月で20ページ以上進んだ生徒)

池崎佑磨39 竹下柊希35 竹下椋香33
高橋恵太32 黒木康平30 佐藤葉南子30
中津裕貴29 光野涼有26 森本倫才24
古橋晴香22 西本直幸21 佐藤日奈子20
平井望彩20

猛スピードばく進中(瞬達)

(初歩教材「瞬達」を1ヶ月で5ページ以上進んだ生徒)

谷岡菜々子15 中越菜々子14 熊田星麗12
井手亮太11 西島朝香10 角南佳祐9
村田直己8 若林聖和7 杉山元規7
田中友子7 中越菜摘7 奥田南海6
木村理仁6 四宮彩花6 塚本裕策6
今泉夏陽5 岡田遥5 岡田涉5
小野澤怜花5 金田久慶5 木村征爾5
下岡芽生5 津崎菜々子5 中家千裕5
平田航大5 村部啓太5

フラッシュ暗算合格者

(1月20日までの1ヶ月間)

9段 大内悠聖

7段 福田陸人

6段 大内峻聖

- 2段** 山内星徳
- 初段** 加茂和志
- 1級** 熊田星麗
- 2級** 奥田南海 金田久慶
角南佳祐 中越菜々子
- 3級** 奥田南海 角南佳祐
井手亮太 西本匠吾
- 4級** 楓まい 仙田さくら
中家千裕 山内優歩
- 5級** 山内優歩 牧野元
- 6級** 谷岡菜々子 吉田優香
- 7級** 川瀬雄登 河田青大 沼田創史郎
- 8級** 河田青大 植田成海 川崎龍一
仲谷愛花 西村梨留
- 9級** 仲谷愛花 石橋広太郎 田邊美空
畑さくら 大和蒼波
- 10級** 若林日和

書道教室から～加藤真月

新年最初のお稽古から、「第27回成田山全国競書大会」と「平成23年度学生書初コンクール」に応募された方は、長い紙に4文字・5文字を書く練習をしました。応募したのは8人だけでしたが、それぞれ書く字を自分で決め練習しました。「春の七草」「新春の朝」「夢と希望」「楽しい時間」といった言葉です。半紙より大きい分、力強さが求められますが、その分伸び伸びと書け、半紙とは違った楽しさがあると思います。段位に関係なく応募できるので、次回は他の方もされてみるといい経験になるのでお勧めです。

さて、毛筆の昇段試験の結果が2月号に発表されました。合格された方は、下記の方です。認定証が必要な方は800円を添えて申し込んで下さい。希望者のみです。

・三段合格…金本大夢・上野舞華・市

川未悠・金本三夢・藤原弥咲
・二段合格…今井麻奈未・辻尾菜々・山下彩乃・木村美佑・黒田幸花・黒田佳花

・初段合格…東美玖

教室で販売している墨汁代が安くなりました。200円です。小筆・太筆も数本あります。筆は仕入れるときの筆によって値段が変わるので、随時お尋ねください。1級になると半年に1回、昇段試験があります。試験に合格するまでは同じ段位（1級）のままです。毎月本部に提出する競書で段位があがることはありません。試験は本部の先生が試験課題をもとに判断されています。段になられた方は、本の課題にとらわれず、書きたい字などがあればお手本を書きますのでそちらを練習されても構いませんので、おっしゃって下さい。

毎週金曜日、午前9時半から11時半まで、大人の方の書道教室を1階でしています。月謝は、筆をされる場合は4200円、ペンをされる場合は3150円です。大人向けの「書の教室」の本もありますが、本にとらわれず、小筆の実用書だけ、手紙文だけ、ボールペンでのペン字だけというのでも結構です。興味のある方は、メールを頂けたらと思います。アドレスは、mari-kato20060826@ezweb.ne.jpです。

・幼稚園	毛筆	硬筆
小西 美琴	8級	8級
市川 大誠	新10級	8級
・小1		
角南 佳祐	7級	3級
・小2		
今井 麻奈未	2段	2段

加藤 大騎	初段	2段
沼田 賢志郎	9級	4級
東 美玖	初段	1級
土橋 乙心	5級	1級
小西 真雪	7級	4級
松下 菜々	7級	5級
九十九 光希	7級	4級
中村 優吹	新9級	7級
・小3		
蜂谷 圭将	4段	5段
辻尾 菜々	2段	4段
金本 大夢	3段	3段
上野 舞華	3段	3段
沼田 創史郎	4級	1級
中西 佑輔	5級	初段
松下 真之介	6級	5級
尾碕 初菜	6級	5級
西本 朱里	新8級	新8級
・小4		
市川 未悠	3段	3段
金本 三夢	3段	2段
吉富 千夏	2段	4段
大槻 遥香	初段	1級
岸本 健志	1級	初段
山下 彩乃	2段	初段
東 優里	初段	初段
園田 有咲	2級	1級
山口 愛未	3級	1級
桑原 唯衣	7級	5級
・小5		
上野 豪斗	初段	3段
藤原 弥咲	3段	3段
木村 美佑	2段	初段
下垣 このみ	1級	2段
中井 美咲	2段	5段
黒田 佳花	2段	2段
黒田 幸花	2段	2段
園田 沙耶香	3級	1級

寺西 匠人	6級	5級
・小6		
下垣 大吾	1級	3段
荒木 幸菜	1級	1級
桑原 麻衣	2級	1級

◎昨年の大晦日、午後1時よりフジテレビ系列で放送されました年末特番に、当教室の授業風景と私の家族がビデオで紹介されました。どんな内容の番組になるか不明でしたので、塾報でもご紹介致しませんでした。偶然ご覧になった方もいらっしゃるのではないかと思います。

さてその番組で、我が家族の名前と年齢が紹介されましたが、なんたることか、もっとも間違えてはいけない、いや、公表してはいけないはずの我が子ども達の母親の年齢が生後半世紀、すなわち50歳と紹介されたのでした。

結婚した頃、たしか我が子ども達の母親は私よりも年下だと承知していたはずなのですが、うかうかしている間にいつの間にやら追い抜かされていたようです。

家族そろってテレビを見るのは年間通じて5時間もない我が家にとって、大晦日は5時間のうちのほとんどを占めます。昨年はそこに年末特番の1時間が加わりましたから、テレビ視聴はかなりの家族イベントだったのですが、顔写真の横に「文美（50歳）」と出たときから後の番組内容は私の記憶に残っていません。

その場の空気をいかにして円満に収めてくれようか…。私の腐心、世のお父様方ならわかっていたいただけるものと確信しております。